

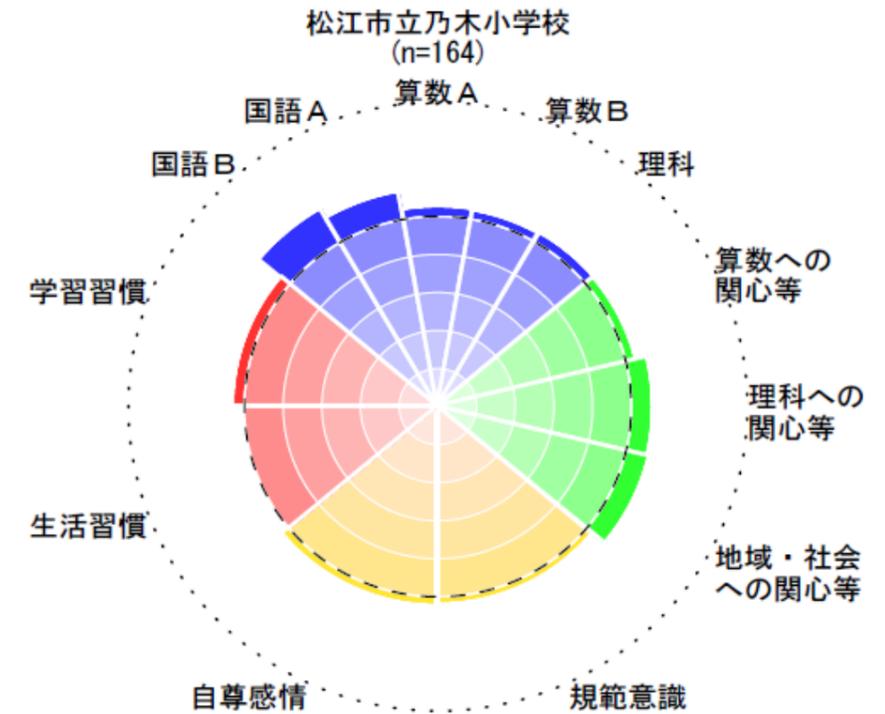
平成30年度 全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策（松江市立乃木小学校）

平成30年9月25日

(1) 学力調査結果から見られた傾向

		成果と課題(○：成果, ●：課題)	対策
国語	A (基礎)	○学習した漢字を正しく使うことができ、文中の主語と述語との関係や適切な敬語の使い方を注意して文を書くことができる。 ●登場人物の心情について、文の場面の表現から想像を豊かに読むことに課題がある。	・読書活動に力を入れ、優れた叙述にたくさんふれることができるようにする。 ・学校生活全体において読むことや書くことが好きになるような日常指導を充実させる。
	B (活用)	○目的や意図に応じて、文の内容を的確に理解したり、計画的に話し合うことができる。 ●自分の考えを明確に表現するために、文全体の構成の効果を考えることに課題がある。	・伝えたい内容が伝わるように、その対象をよく認識したり、考えの根拠を明確にしたりして書くことを大切にさせる。 ・日常的な指導の中で、いろいろな表現の効果を認識させる指導を充実させる。
算数	A (基礎)	○計算の意味を理解したり、空間の中にあるものの位置を表現することができる。 ●図形を構成する要素や伴って変わる二つの数量の割合等の関係性を考察することに課題がある。	・図形についての観察や構成等を理解するための活動を充実させ、平面図形への理解を深めさせる。 ・関係図や数直線図等の量的イメージができる指導を工夫し、二つの数量を考察する力を育てる。
	B (活用)	○数量の関係を表す式について理解し、式を用いて正しく計算することができる。 ●図形の性質を見いだして、それを用いて図形を調べたり構成したりすることに課題がある。	・一人の学びだけでなく、協同的な学習の展開を意識した授業を充実させ、問題解決の能力を向上させる。 ・複合的な図形を理解するための操作的・体験的な学習活動を積極的に授業の中に取り入れ、実感的な理解を深められるようにする。
理科		○観察したことや資料を活用したり、実験結果を多面的に分析したりして考察することができる。 ●学習した内容や生活経験を実際の自然や日常生活等に適用することに課題がある。	・学習したことを基にものづくりの活動を設定し、ねらいと照らし合わせながら主体的に活動できるようにする。 ・観察・実験等の活動を一人一人に保障し、その活動にどのような意味があるのか理解できるように支援する。

(4) 学力調査及び生活意識調査から見られた傾向（破線は全国平均）

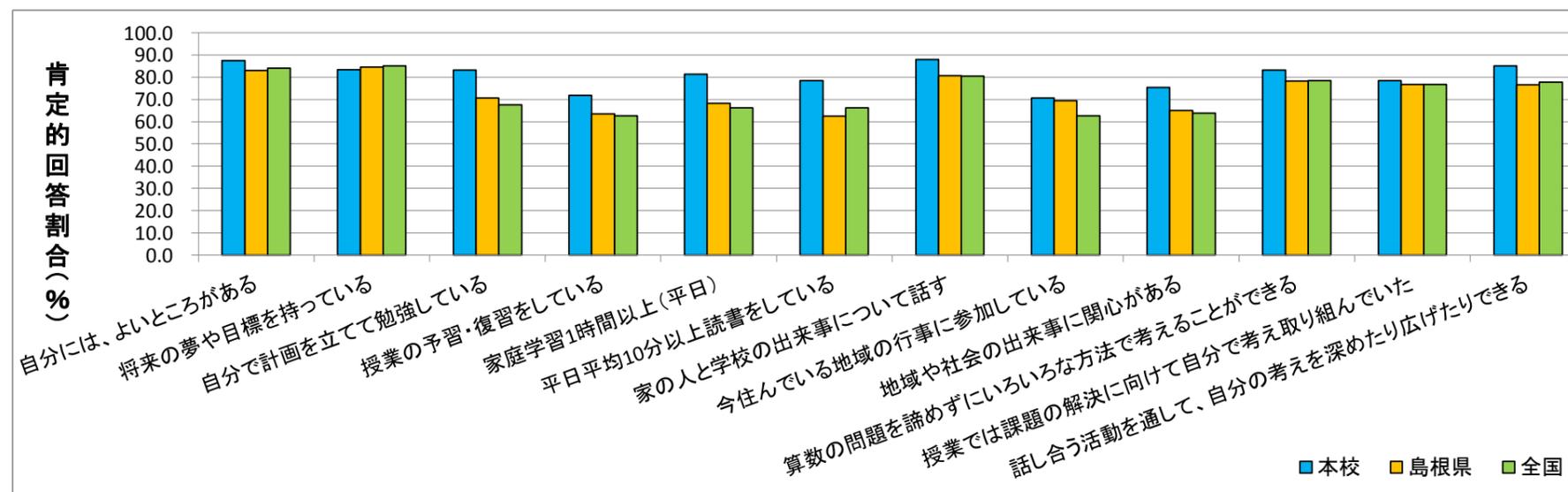


(2) 生活意識調査から見られた傾向

成果と課題(○：成果, ●：課題)	対策
○家庭で自分で計画を立てて学習することが身につけてきており、予習・復習やテスト勉強等の自学自習において、教科書を使いながら進めることができる。 ●算数の勉強に苦手意識があったり、主体的に学習や生活したりすることに課題がある。	・課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいく授業づくりを工夫する。 ・キャリア教育を充実させ、一人一人が自立するための資質・能力を形成・向上していく。

(5) その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・“乃木っ子は「あたま」「こころ」「からだ」を鍛える”ことを教育目標としており、バランスのよい教育活動を展開していく。
・本校では、「自ら考え、伝え合い、学びを深める子どもの育成」を主題として理科教育を軸に教科研究を現在行っており、学習における問題解決の能力を育成することを大切にしているので、今後も継続していく。



【参考】

○平均正答率

		本校	松江市	島根県	全国
国語	A	76	70	68	70.7
	B	63	57	55	54.7
算数	A	65	62	61	63.5
	B	53	50	49	51.5
理科		62	59	58	60.3

受検者数 168人
※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示しています。